

◎県政に関するご意見等をこの用紙でお寄せください。また、県ホームページでも受け付けています。

知事にアクセス

テーマ

〒□□□-□□□□

ご住所

お名前

男・女

歳

ご職業



()

た
に
折
り

※ご意見等は黄色い部分からはみ出ないように記入してください

県議会からのお知らせ

- ①第350回通常会議
5/25(金):本会議 (開議、議案上程)
5/29(火)、31(木)、6/1(金):本会議 (質疑・質問)
6/5(火):常任委員会
6/13(水):本会議 (採決、散会)

※いずれも午前10時開始予定。なお、日程は変更となる場合があります

- ②テレビ中継等
本会議(質疑・質問)の様子は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、県議会ホームページ(インターネット)で生中継します。

- 問 県議会事務局
①議事課 ☎028-623-3761
②政策調査課 ☎028-623-3772

栃木県庁舎からのお知らせ

◎次回のあしぎんマロニエ県庁コンサートは6/6(水)の予定です

案内

自動車税の納付期限は5月31日(木)
●お近くの金融機関、コンビニエンスストア、自動車税事務所、県税事務所での納付のほか、クレジットカードや、ATM・インターネットバンキング等を利用した納付ができます
問 県税務課 ☎028-623-2108

身体障害者手帳の認定基準が変わります
●4月1日から、身体障害者手帳の認定基準(じん臓機能障害)が一部改正され、じん臓機能障害の対象となる検査項目が追加されました●詳しくは栃木県障害者総合相談所またはお住まいの市町の福祉担当課にお問い合わせを
問 栃木県障害者総合相談所 ☎028-623-7010

とちぎ地域企業応援ネットワークポータルサイトの開設
●中小・小規模企業や創業希望者向けに研修・セミナー・イベント等の情報を発信するサイト●国、県、市町、商工団体、金融機関など、120を超える団体のセミナー等を、カテゴリーごとに検索することができます
●詳しくは [とちぎ地域企業応援](#) **検索**
問 県経営支援課 ☎028-623-3173

ホットもっと電話相談のご案内
●家庭教育や学校生活の悩みを相談できます(メールでの相談も可能)①保護者専用 ☎028-665-7867②子ども専用(24時間) ☎0120-0-78310(全国共通、通話料無料)または ☎028-665-9999●詳しくは県ホームページで確認を
問 県生涯学習課 ☎028-623-3404

不動産取引法律相談
●5/17(木)午後1時30分~4時●県庁研修館205研修室●弁護士などによる不動産取引の法律相談定3件(先着)料無料
☎5/11(金)●電話で申し込みを
問 県住宅課 ☎028-623-2488

動物愛護指導センターからのお知らせ
◎猫譲渡事前講習会
●5/30(水)午後1時30分~3時●猫の飼い方などの講習会料無料
◎子犬の譲渡会
●6/5(火)午後1時30分~3時30分●犬譲渡事前講習会の受講が必須(直近は6/3(日)午後1時30分~3時)
※いずれも電話で申し込みを
問 同センター(宇都宮市) ☎028-684-5458

2019とちぎ求人企業合同説明会
●5/31(木)午後1時~3時30分●マロニエプラザ(宇都宮市)●対象:県内企業への就職を希望している平成31年3月大学等卒業予定者、同学歴の既卒3年以内の未就職者、おおむね45歳未満の同学歴卒業者料無料●履歴書不要、入退場自由●当日直接会場へ
問 県労働政策課 ☎028-623-3224

身体障害者巡回相談
●6/14(木)午後2時~4時●栃木市栃木保健福祉センター●肢体に障害がある方を対象とした、補装具・医療・生活などに関する相談定5名(先着)料無料☎6/5(火)●各市町の障害福祉担当課へ電話で申し込みを
問 栃木県障害者総合相談所 ☎028-623-7010

慰霊巡拝のお知らせ
●旧ソ連(アルタイ地方・ケメロポ州・ノボシビルスク州、ハバロフスク地方、イルクーツク州、沿海地方)、中国東北方、南方方面(東部ニューギニア、北ボルネオ、ピスマーク諸島、ミャンマー、パラオ諸島、フィリピン、硫黄島)●対象:実施地域における戦没者遺族(原則過去5年以内に政府主催の慰霊巡拝に参加していない方)●申込方法などは問い合わせを
問 県高齢対策課 ☎028-623-3054

自然体験ひろば

海浜夏まつり
とちぎ海浜自然の家(茨城県鉾田市) ☎0291-37-4004
●地引き網体験や磯節鑑賞、“おまつり広場”でのゲームなどを楽しめます
●7/7(土)~8(日)1泊2日定250名(抽選)料大人6,000円、高校生以下は学年・年齢により異なります☎6/4(月)



やさしい草木染め
芳賀青年の家(益子町) ☎0285-72-2273

●藍染めや紅花染めなどの草木染め体験
●7/7(土)~8(日)1泊2日●対象:参加経験のない成人の方定30名(先着)料9,000円(県外在住者9,790円)☎6/2(土)

どきどきキャンプ
太平少年自然の家(栃木市) ☎0282-24-8551

●避難所設営や野外調理などを体験
●7/22(日)~25(水)3泊4日●対象:小学4~6年生定25名(抽選)料12,000円●申込期間:5/18(金)~31(木)

文化通信

栃木県立美術館

国吉康雄と清水登之〜ふたつの道〜

国吉康雄と清水登之は、ともに若くしてアメリカに渡り、働きながら美術を学びました。二人は、20世紀初頭のニューヨークで画家としての自己を確立。国吉は日本画や古いアメリカ絵画の技法を取り入れた作品で、清水は哀歎あふれる庶民の暮らしを描いた作品で、それぞれ高く評価されました。昭和2(1927)年に、清水が日本へ帰国した後も二人の友情は続き、清水は国吉の成功をたたえる文章を雑誌に寄稿しています。

ところが彼らは、その後半生において大きく異なる道を歩むこととなります。

国吉は、母校であるアート・スチューデント・リーグにおいて教授の職に就いていたことから、日米開戦後もアメリカに残り、日本の軍国主義に対抗する活動を行いました。

一方、帰国した清水は、独立美術協会の創立に参加し、その中心メンバーとして活

躍。また、早くから戦争を主題とする作品に取り組み、中国や東南アジアの戦場に従軍して、難民などを主題とした多くの作品を描きました。しかし、アメリカとの戦争によって愛息である育夫を失



清水登之「主婦と下男」1926年 [県立美術館蔵]

い、その悲しみに暮れながら、終戦の年に栃木市の生家でその生涯を終えました。

明治の末、青雲の志を抱いて渡米し、深い親交を持ちながらも、戦争によって異なる道を歩まざるを得なかった二人。本展では、20世紀前半の日本とアメリカに生きた彼らの生涯と作品を、福武コレクションと岡山大学国吉康雄研究講座の協力を得て対比します。

企画展関連イベント

- ◎上映会「国吉康雄検証ドキュメンタリー“国吉を誤解している日本・忘れたアメリカ”」
●6/3(日)午後2時~(1時間程度)●同館集会室定100名(先着)※要事前申し込み

会期:6/17(日)まで休月曜
問 同館(宇都宮市) ☎028-621-3566
